



2018年1月20日

米国子会社プロテクティブ社による米国リバティライフ社の 個人保険・年金既契約ブロックの買収について

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)の米国子会社であるProtective Life Corporation(以下、「プロテクティブ社」)は、米国マサチューセッツ州のLiberty Life Assurance Company of Boston(以下、「リバティライフ社」)における個人保険・年金既契約ブロックを買収することを決定し、買収契約を締結しました。なお、当該買収は、Liberty Mutual Group, Inc.による傘下リバティライフ社のLincoln National Corporation(以下、「リンカーン社」)への売却と同時に実施するものであり、リバティライフ社株式のリンカーン社への移転、米国監督当局による認可等を前提として、当社の2018年度上半期を目処とした買収手続完了を予定しています。

本件はプロテクティブ社の買収としては過去最大級の投資規模となる案件であり、当該買収を通じて同社の更なる事業収益力強化を見込んでいます。

プロテクティブ社は、伝統的な生命保険事業、個人年金事業に加え、買収事業に強みを持ち、2015年2月に当社グループの一員となって以降も、2015年に米国 Genworth Financial, Inc.からの定期保険ブロックの買収を、また2016年に米国 USWC 社の買収をそれぞれ実現しました。これらの買収と同様、今回の買収もプロテクティブ社の手元資金で対応する予定です。

今後も、当社はプロテクティブ社を米国における当社グループの成長プラットフォームとして位置づけ、当社による買収事業・リテール事業双方の規模拡大を通じた北米における更なる成長と収益拡大を目指していきます。

<買収の概要>

買収形態	再保険形式での買収
買収対象	リンカーン社傘下のリバティライフ社が保有する個人保険・年金の既契約ブロック ※ リバティライフ社は団体保険事業および個人保険・年金事業を営む生命保険会社であり、今回、リンカーン社が同社の全株式を取得するとともに、プロテクティブ社がリバティライフ社より個人保険・年金既契約ブロックを受再するもの。
契約件数	約 50 万件 ※ 2016 年 12 月 31 日現在
責任準備金額 (米国法定会計基準)	約 130 億米ドル (約 1 兆 4,700 億円) ※ 2016 年 12 月 31 日現在。1 米ドル=113 円換算。
総投資金額	約 12 億米ドル (約 1,400 億円) ※ 上記金額は、既契約ブロック取得の対価として売り手に支払う買収価格・責任準備金積立に対する必要資本額等の合計額。1 米ドル=113 円換算。

以上